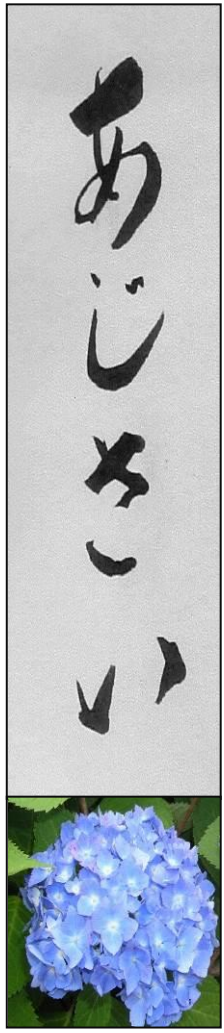


お花見お茶会



主任支援員 黒須 津賀子
 三月二十七日桜満開の園庭で「お茶会」を行いました。
 昨年引き続きコロナ禍の為、地域の方々や来賓の方々をお招きしての「お花見の会」が中止になった為、今年は少しでも入居者の皆さんにお花見気分を味わって頂きたいと思い、この「お茶会」を開催しました。
 花びら型のお皿に乗った紅白饅頭を頬張り、皆さんの顔には自然と笑みがこぼれていました。
 来年はコロナも収束し、たくさんの方と賑やかな「お花見の会」を開催できることを、願っております。



「花より団子じゃなく紅白饅頭？」



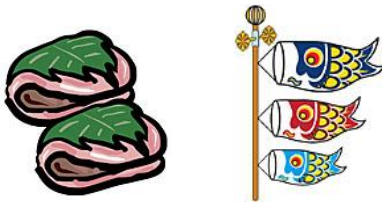
美味しく頂きました



毎年五月が近づくと、富士見園の集会室前には、「端午の節句」の飾りつけが行われます。
 「兜」と鯉のぼりを飾り、今年はい入居者が作った折り紙の鯉のぼりも飾りました。
 ただ皆さんの一番の楽しみは、おやつに出る柏餅だったようです。柏餅を召し上がっているときが、一番幸せそうでした。

端午の節句

支援員 村上 智恵



《数名の方に端午の節句の思い出を伺いました》

- 子供の頃に食べた柏餅は最高だったよ！今も最高だけどね。
- 新聞で兜を作ってみんなでチャンバラごっこをしたよ。あの時は楽しかったなあ。



母の日



五月九日は、母の日との事で、ひかわでもユニット毎に母の日の記念イベントを行いました。

A1ユニットでは、昼食に炊き込みご飯と天麩羅を明石栄養士に作ってもらい、お祝いしながら全員で美味しく食べました。

茄子にさつま芋、かき揚げとお皿いっぱいのお天麩羅でしたが、皆様ペロリと召し上がっていました。

また、B2ユニットではおやつに手作りのフレンチトーストを提供しました。B1ユニットでは、全国各地の有名なお菓子を取り寄せして充実のおやつタイムを過ごし、笑顔がたくさん見られました。

相変わらずのステイホーム継続中ですが、皆様とてもお元気にお過ごしです。



特別養護老人ホームひかわ



クチン接種も六月中に終了しましたが、今後も感染対策に努めてまいります。



コロナワクチン接種



入居者の皆様に新型コロナウイルスのワクチンが届き、四月中旬より接種がはじまりました。一回目の接種から三週間後に二回目の接種を行い、体調不良の方やアレルギーのある方以外は、接種が済んでいる状況です。

接種後には数人の発熱者が出ましたが、囑託医の処方薬にて対応し、幸い大きな体調不良にはつながりませんでした。職員のワ

見逃すな!

脱水のサイン

梅雨が明けて一段と暑くなりました。今回は「脱水の発見方法」についてお話しします。

- ① 握手をする→手が冷たければ疑わしい
- ② ベロを見せてもらう→乾いていたら疑わしい
- ③ 親指の爪の先を押してみる→赤みが戻るのが遅ければ疑わしい(二秒以内に戻ればOK!)
- ④ わきの下を確認してみる→乾いていたら疑わしい
- ⑤ 皮膚をつまんでみる→皮膚がつままれた形から3秒以上戻らなかつたら疑わしい(2秒以内に戻ればOK!)

その他、原因不明の発熱、尿の量や回数が少ない等も脱水のサインの可能性があります。しっかりと水分を摂って元気に夏を乗り切りましょう。

ウェルネスサポーター

ウェルネス通信



三恵苑のニューフェイスです！



岩谷節子様



瀬谷さよ子様



浅見和夫様



矢作のり子様



酒井定子様



デイサービスセンター

ふっきましたあ

看護師 内海佳子

皆さんこんにちは！
四月より「**デイサービス**」に
復帰しました。

平成十六年から十二年間勤
めていた「**デイサービス**」を出て、
「**在宅介護支援センター**」へ移動。
その後、平成二十八年からは
「**地域包括支援センター**」で勤
務し、やつと帰ってきました。
懐かしい方や新しく出会った
方々と一緒に、楽しく過ごして
いきたいと思っております。
よろしくお願いいたします。

今までの
経験を活かして
頑張ります！



在宅介護支援センター

ラジオ体操で

地域の見守り

ケアマネジャー 宝井泰子

おはようございます！マスク姿
で朝六時半、ラジオ体操に集ま
る笑顔の面々。ここは内野本郷
大空公園、三月から雨天を除
き毎日行われ、登録は七〇名
超、あちこちで小声の会話がは
ずみです。「コロナで外出を控え、
人の顔を見て話すなんて久しぶ
り」「元気だった？」「くさんど
うしているかな？」「ワクチン予
約できた？」など地域の小さな
情報・見守りの場になっていま
す。

コロナ感染源に
ならないよう
体調は自己管理、
四十雀の鳴き声で
気分爽快。
体操のあとの
ウォーキングに
行く方もいます。
長寿応援シールは
楽しみの一つです。



シニアサポートセンター

紫陽花の花

地域支え合い推進員

石塚 利夫

紫陽花の
藍をとばして

雨あがる(阿部みどり文)

紫陽花の季節になりました。
近所で色々な種類の紫陽
花を見かけます。もとはガク
アジサイを改良したもので、
西洋に渡りさらに品種改良
が進み剪定の仕方も容易に
なり、色・形など本当に多様
でたくさんのお花をつけるよう
になりました。



特に遠出が出来ない現状
では、西区内の「花」の名所を
訪ね、紫陽花を静かに見て歩
くのが、楽しみです。





運動会? やるよ!

残念ながら新型コロナウイルス収束の目処が立ちませんでした。2回のワクチン接種もあり1・2階合同で今年は運動会を開催しました。



今年のおやつはシャトルレーゼのプリンで、おやつ取り競争を自らつかみ取り、昼食のデザートと一緒に食べて『美味しかった』と好評。



午後の競技の玉入れ・ボーリング等も白熱し、僅差で赤組の優勝でした。

応援合戦は声出し禁止の為相談員も参加し、曲と踊りで皆さん楽しみました。



来年こそは再び外で出来る位に落ち着いてほしいものです。

介護士 佐藤 謙

お花見会

介護士 俵谷 敏樹

昨年『来年は普段通り開催できますように。』と念じたのですが、今年も新型コロナウイルスの影響で残念ながら入居者・職員のみでの開催となってしまいました。そんな中、苑の誇り「オバーンズ」が踊りで、「ユズ次郎」が科学実験で会を盛り上げてくれました。感謝です。

当日天気がぐずっていた為、あじさい公園へのお花見に行けませんでした。後日桜が満開の時にお花見散歩を行い、皆様に楽しんでおられました。



特別養護老人ホーム三恵苑

五月二日、少し早い端午の節句の会を行いました。ゲームで『紐通し送り』をしました。端午の節句と言えば『鯉幟』です。中庭に鯉幟を飾りましたが、入居者には高い位置で泳いでおり見えなかったようなので、端午の節句を感じていただくために、小さい鯉幟を紐に通して送るゲームを行いました。入居者にはぎやかに楽しんでおられました。中には鯉幟に紛れて自分の洋服も通して送っているユニークな方もおられました。



介護士 渡邊 太一



令和三年七月一日
三恵会だより第七十九号
社会福祉法人 三恵会